

講演会・例会のご案内

(7月10日～9月9日)

開催日	場所	名称	講師	カリキュラムコード	問合せ先 参加費
7/12 (水) 19:10	ダブルツリーby ヒルトン那覇首 里城	沖縄県急性期感染症セミナー 感染症とDIC(1.0単位)	三嶋 廣繁(愛知医科大学 大学院医学研究科臨床感 染病学主任教授)	8)感染対策	旭化成ファーマ (株)四宮 康雄 098-869-9540 参加費なし
7/15 (土) 19:00	ダブルツリーby ヒルトン那覇首 里城	第14回沖縄小児内分泌研究会 成長曲線は語る—新しい成長 曲線とその活用法について— (1.0単位)	木下 英一(きのしたこども クリニック)	23)体重増加・肥満 72)成長・発達の障害	JCRファーマ 阿部 真也 092-474-7740 参加費なし
8/7 (月) 19:00	ザ・ナハテラス	第21回沖縄リウマチ医療の会 ①リウマチ手の再建(1.0単位) ②全身性強皮症の新規治療 (1.0単位)	①水関 隆也(広島県立障 害者リハビリテーションセン ター顧問) ②竹原 和彦(金沢大学医 薬保健研究域医学系皮膚 分子病態学教授)	①61)関節通 73)慢性疾患・複合疾 患の管理 ②45)呼吸困難 73)慢性疾患・複合疾 患の管理	あゆみ製薬(株) 鬼束 次男 0120-061-374 参加費 1,000円

※最新の情報はホームページで逐次更新していますので、ご確認ください。

※お願い:9月10日～11月9日迄の講演会例会等が決まれば、7月25日迄に業務1課(098-888-0087)へご一報下さい。

お知らせ

一般財団法人 生命医学研究振興財団研究助成の募集について

「一般財団法人 生命医学研究振興財団」は、沖縄を主とした亜熱帯地域内における生命医学の領域に関する調査の実施及び学術研究、研究奨励推進を行い、以て地域医療福祉の発展に寄与することを目的として設立されました。

この度、当財団では研究に対する助成の募集を行います。応募書類は文部科学省の科研費の申請書類に準じます。研究助成費は1件100万円で、今年度は1～2件の助成を予定しております。募集期間は平成29年7月31日までとします。尚、助成の採否については8月中旬に連絡させていただきます。会員の方への周知を御願ひ申し上げます。

一般財団法人 生命医学研究振興財団
理事長:小杉 忠誠

(問い合わせ先及び応募先)

〒905-0011 沖縄県名護市宮里七丁目22番35号 名護記念クリニック内
「一般財団法人 生命医学研究振興財団」 担当:小濱 智枝
TEL:0980-52-4187 FAX:0980-52-4189

平成 29 年度 産業医研修会案内

平成29年度みだし研修会を別紙要領により開催することに致しましたので、ご案内申し上げます。

つきましては、研修会への受講を希望する場合には、別紙開催日程をご確認の上、下記により FAX(098-888-0089)でお申し込み下さい。

研修会参加申込票

参加希望の研修番号に○印を付けてください。

申込み研修番号	A・ B・ C・ D・ E・ F・ G・ H
参加申込者	氏名：
	氏名：
	氏名：
	氏名：
施設名	
TEL	
認定区分	認定医 ・ 未認定医

※申込後にキャンセルする場合は、お早めにご連絡くださいますようお願い申し上げます。特に実地研修については、定員に達した場合、キャンセル待ちが発生することもございますのでご協力のほどお願い致します。

※平成 30 年 4 月 1 日より、産業医研修会実施計画は「沖縄県医師会報」ならびに「沖縄県医師会ホームページ」にてお知らせします。

沖縄県医師会事務局 業務 1 課 與儀
(TEL.098-888-0087 FAX.098-888-0089)

//////////////////////////////// 産業医研修会のご案内 //////////////////////////////////

平成29年度沖縄県医師会産業医研修会実施計画（日本医師会へ指定申請中）

※単位制の研修につき、時間厳守をお願いします。遅刻や途中退室は単位認定ができませんのでご注意ください。

申込み 研修番号	研修会名	日 時	場 所	カリキュラム (付与単位数)	講師名
終了	基礎研修 (前期のみ) (未認定医対象)	4月20日(木) 開始18:30 終了22:30	沖縄県医師会館 (2階会議室1)	(1) 産業医活動の実際(2単位) 「産業医活動の面白み」 (2) 作業管理(2単位) 「作業管理の考え方とその実例」	(1) 伊志嶺 隆 先生 (2) 清水 隆裕 先生
終了	基礎研修 (前期のみ) (未認定医対象)	5月25日(木) 開始18:30 終了22:30	沖縄県医師会館 (2階会議室1)	(1) 有害業務管理(2単位) 「有害業務管理による健康障 害を防止するために～基礎 から最近のトピックスまで を俯瞰する～」 (2) 健康保持増進(2単位) 「特定健診、特定保健指導、労 災二次健診」	(1) 青木 一雄 先生 (2) 清水 隆裕 先生
終了	基礎(後期) 生涯(専門)	6月15日(木) 開始18:30 終了22:30	沖縄県医師会館 (3階ホール)	(1) 作業管理(2単位) 「人間工学的視野に立った作 業管理や安全対策を考える」 (2) メンタルヘルス対策(2単位) 「産業医に必要なメンタルヘ ルスの知識と最近の話題」	(1) 伊志嶺 隆 先生 (2) 仁井田りち 先生
D	基礎(後期) 生涯(専門・更新)	7月8日(土) 開始18:30 終了22:30	沖縄県医師会館 (3階ホール)	(1) 労働衛生管理体制(総括管理) (2単位) 「健康で快適な職場環境を形 成するための労働衛生管理 体制の構築に向けて」 (2) 労働衛生関係法規と関係通 達の改正(2単位)	(1) 青木 一雄 先生 (2) 加藤 浩司 先生
E	基礎(実地) 生涯(実地) 【定員60名】	7月27日(木) 開始18:30 終了21:30	沖縄県医師会館 (3階ホール)	(1) メンタルヘルス対策(3単位) 「ストレスチェック後の医師 の面接指導」	(1) 山本 和儀 先生
F	基礎(後期) 生涯(専門)	8月10日(木) 開始18:30 終了22:30	沖縄県医師会館 (3階ホール)	(1) 健康管理(2単位) 「職場における健康診断の意 義とその活用法」 (2) 労働衛生教育(2単位) 「アルコール対策の実際」	(1) 青木 一雄 先生 (2) 清水 隆裕 先生
G	基礎(後期) 生涯(専門・更新)	10月19日(木) 開始18:30 終了22:30	沖縄県医師会館 (3階ホール)	(1) 有害業務管理(2単位) 「職場における化学物質によ る健康障害の防止のために ～化学物質のリスクアセス メント～」 (2) 労働衛生関係法規と関係通 達の改正(2単位)	(1) 青木 一雄 先生 (2) 加藤 浩司 先生
H	基礎(実地) 生涯(実地)	11月18日(土) 開始18:30 終了21:30	沖縄県医師会館 (3階ホール)	(1) 健康保持増進(3単位) 「新しい保健指導 動機付け 面接」	(1) 清水 隆裕 先生

※申込後にキャンセルする場合は、お早めにご連絡くださいますようお願い申し上げます。特に実地研修については、定員に達した
場合、キャンセル待ちが発生することもございますのでご協力のほどお願いいたします。

※平成30年4月1日より、産業医研修会実施計画は「沖縄県医師会報」ならびに「沖縄県医師会ホームページ」(http://www.okinawa.med.or.jp/html/sagyo_gakujutu/sangyoi/sangyoi.html)にてお知らせします。

参考 沖縄県医師会 産業医研修会年度別開催スケジュール（平成25年～平成29年度）

研修名称		研修内容	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
I 基礎研修	前期研修 (未認定医14単位以上)	(1) 総論(2単位)		4/17		4/28	
		(2) 健康管理(2単位)		4/17		4/28	
		(3) メンタルヘルス対策(1単位)		6/19		6/16	
		(4) 健康保持増進(1単位)	6/6		4/16		5/25
		(5) 作業環境管理(2単位)		6/19		6/16	
		(6) 作業管理(2単位)	4/19		4/16		4/20
		(7) 有害業務管理(2単位)	6/6		6/18		5/25
		(8) 産業医活動の実際(2単位)	4/19		6/18		4/20
		(9) その他					
I II 基 生 涯 研 修	後期研修 (未認定医26単位以上)	(1) 労働衛生関係法規と関係通達の改正	11/17	10/30	5/21	5/19、10/15	7/8、10/19
		(2) その他	5/16	5/15	7/16		
	更新研修 (認定医1単位以上)						
I II 基 生 涯 研 修	実地研修 (未認定医10単位以上) (認定医1単位以上)	(1) 健康管理			6/20		
		(2) じん肺の胸部エックス線検査					
		(3) メンタルヘルス対策	12/12	11/13	11/12	6/4	7/27
		(4) 健康保持増進	8/10				11/18
		(5) 救急処置				11/17	
		(6) 作業環境管理・作業管理		8/23			
		(7) 職場巡視と討論	8/10				
		(8) その他			7/12		
I II 基 生 涯 研 修	後期研修 (未認定医26単位以上) 専門研修 (認定医1単位以上)	(1) 総論	11/17	5/15		5/19	
		(2) 労働衛生管理体制(総括管理)	5/16		5/21、7/12		7/8
		(3) 健康管理	9/13	7/17	8/20	7/14	8/10
		(4) メンタルヘルス対策	11/17	9/13	10/8	8/25	6/15
		(5) 健康保持増進	9/13	7/17		7/14	
		(6) 作業環境管理	12/6	10/30		10/15	
		(7) 作業管理	11/17		7/16		6/15
		(8) 有害業務管理	12/14		11/26		10/19
		(9) 労働衛生教育	12/14		8/20		8/10
		(10) その他	12/6	9/13		8/25	
		研修会開催回数	9回	8回	10回	8回	8回

【未認定医】

- ・新規認定の為には基礎研修（前期研修14単位以上・実地研修10単位以上・後期研修26単位以上）合計で50単位以上の修得が必要です。
- ・未認定医は「2年程度」で産業医の認定資格が得られます。

【認定医】

- ・認定産業医の更新には、認定証取得後（有効期限内5年間）に生涯研修（更新研修1単位以上、実地研修1単位以上、専門研修1単位以上）20単位以上の修得が必要です。
- ・認定医は1年間では単位取得が可能です。

平成29年度(2017)産業保健研修会予定表 ～産業保健かわら版(前期)～

沖縄産業保健総合支援センターでは、事業場の産業保健担当者等に対して産業保健に関する基礎的又は専門的・実践的な研修会を開催いたします。

参加ご希望の方は申込書に記載の上このままFAX(098-859-6176)にてお申し込み下さい。

「ホームページ」にも研修会の案内を掲載しておりますので、ご利用下さい。(http://www.sanpo47.jp)

※なお、「定員」に達した場合は受付を終了させていただくことがありますので、ご了承ください。

〒901-0152 沖縄県那覇市字小禄1831-1

沖縄産業支援センター 2階

独立行政法人 労働者健康安全機構

沖縄産業保健総合支援センター

TEL098-859-6175

FAX098-859-6176

本研修会は無料です。

※キャンセルの場合は御連絡下さい。

● 産業医研修 (生涯研修2単位:「産業医研修手帳」をご持参ください。)

【研修場所 沖縄産業支援センター3階会議室】

研修会番号	日時	研修テーマ	内容	講師	研修会場
5	7月13日(木) 18:30～20:30	職場の受動喫煙対策に関して(生涯専門)	今後一層の強化が期待される職場における「受動喫煙対策」について、その沿革を含めて将来を論じる。	伊波 恒雄 (産業医学)	303室
受付終了	7月19日(水) 18:30～20:30	産業医学メンタルヘルス・ストレスチェック事例検討会(1)(生涯実地)	ストレスチェック及びメンタルヘルス対策に関して、産業医と精神科医が事例を提示し、対応の良かった点、課題などについて検討することを通して、実践的な問題解決法を学んでいただく。	山本 和儀 (メンタルヘルス)	303室
7	8月1日(火) 18:30～20:30	カウンセリング技法を学ぶ(認知行動療法)(生涯専門)	近年、注目されている「認知行動療法」により、いわゆるマイナス思考をプラス思考にギアチェンジするための技法を学びます。	福地 孝 (カウンセリング)	303室
8	8月3日(木) 18:30～20:30	過重労働対策を考える(生涯実地)	産業医先(事業場)の過重労働の現状や、その解決策をグループ討議してもらい、なかなか難しい「過重労働対策」について考える。	伊志嶺 隆 (産業医学)	303室
9	8月29日(火) 18:30～20:30	ストレス社会をいかに生き抜くか(ストレスコーピング)(生涯専門)	基礎的なストレス理論を紹介し、ストレス社会における生き方を共に考えてみたい。	福地 孝 (カウンセリング)	303室

申 込 書

※キャンセルの場合は必ず御連絡下さい。

FAX 098-859-6176

開催場所	沖縄産業支援センター 3階会議室		
フリガナ(必須)氏名		研修会番号	5, 7, 8, 9
所属機関(事業場名)		所属部署	
職種	1. 産業医 2. 産業看護職(保健師・看護師) 3. 衛生管理者 4. 人事・労務・安全衛生担当者 5. 事業主 6. 労働者 7. その他()		
電話番号		FAX	

※申込みの際に記入いただいた個人情報は、本研修会における参加名簿作成のために使用するほか、当センターが行う研修・セミナー等の御案内に使用させていただくことがあります。また、「かわら版」の研修予定以外に研修を開催することがございますのでホームページをご覧ください。

嘱託産業医活動情報書

沖縄県医師会では、事業場からの産業医紹介依頼に対応するため、産業医としての契約を希望されている先生方の情報を取りまとめたいと考えております。ご協力いただける方は下記事項に記入いただき提出をお願い致します。
 ※事業場との契約内容(報酬等)については、事業主と産業医の相談により決定となります。

申込み日 月 日 ()

産業医氏名		診療科目	
医療機関名			
住 所			
電話番号		FAX	
メールアドレス			

嘱託産業医を受託する際のご希望をお聞かせ下さい。

項 目	ご 希 望 条 件
実施可能件数	1件 ・ 2件 ・ 3件 ・ 4件 ・ 5件以上
事業所規模	従業員数 ①50人～99人 ②100人～149人 ③150人以上
業種について	①建設業 ②製造業 ③運送業 ④サービス業 ⑤IT業 ⑥その他 ()
病院から事業所までの所要時間 (片道)	①30分程度 ②45分程度 ③1時間程度 ④時間は気にしない
事業所への訪問、実施曜日 (事業所訪問は基本月1回)	①企業の都合に合わせる ②双方相談のうえ調整
()に第何週か記入下さい	①第 () 水曜日 ②第 () 木曜日 ③第 () 土曜日
ストレスチェックの 実施者 になることについて	① 承諾する ②承諾しない ③要相談
ストレスチェックの 共同実施者 になることについて	① 承諾する ②承諾しない ③要相談
ストレスチェック後の高ストレス者に対する面接指導について	① 実施可能 ②実施不可 ③要相談
地区医師会との情報共有	① 許可する ②許可しない

メモ欄

連絡先
 沖縄県医師会 業務1課(與儀)
 TEL:098-888-0087
 FAX:098-888-0089

平成 29 年度（第 33 回）沖繩県医師会 臨床検査精度管理調査参加申し込みについて （ご案内）

沖繩県医師会では、毎年沖繩県臨床検査技師会の協力を得て、臨床検査精度管理事業を行っておりますが、今年度も検査施設等の臨床検査の質的向上を目的として、下記要項に基づき調査を実施することに致しました。本事業への参加を希望する場合には、来る 7 月 20 日（木）までに本会あて電話（098-888-0087）にてお申し込みください。

記

1. 実施期間：平成 29 年 8 月 28 日（月）～9 月 11 日（月）

2. 実施項目：

▼生化学検査部門（酵素項目：8 項目、濃度項目：19 項目）

▼微生物検査部門（微生物 A、微生物 B、4 項目）

▼血液検査部門（血球算定検査：5 項目、自動白血球分類：1 項目、血球形態検査：1 項目、血球凝固検査：3 項目）

▼一般検査部門（尿沈渣、尿定性、2 項目）

▼免疫・血清検査部門

（HBs 抗原検査、HCV 抗体検査、TP 抗体検査、腫瘍マーカー AFP・CEA・PSA、6 項目）

▼輸血検査部門（血液型検査、不規則抗体試験、凝集判定、3 項目）

▼病理部門（フォト・技術 1 項目）

▼細胞検査部門（フォト 1 項目）

▼生理検査部門（心電図、腹部・体表、心臓の各フォト：3 項目）

3. 参加費：15,000 円（参加お申込後、ご案内致します）

平成 29 年度災害医療研修プログラム開催のお知らせ

沖縄県医師会では、東日本大震災や熊本地震の教訓を活かし、次の大規模災害に備えた態勢の整備として、平成26年度より独自に災害医療研修プログラムを実施しております。

今年度の開催プログラム（一部未定あり）が決定いたしましたのでお知らせします。

各コースへの受講申込は、下記により FAX（098-888-0089）にてお申し込み下さい。

	日時	プログラム	研修形態
終了	5月13日（土） 14:00～18:00	【1】衛星電話に特化した通信手段 【2】EMIS 入力演習	講義、演習
2	7月13日（木） 19:30～21:00	災害支援ナースの役割と活動（仮称）	講義
3	9月21日（木） 19:00～21:00	マス・ギャザリング・メディスン -スポーツ大会における医療救護体制の事例-	講義、図上
4	9月30日（土） 09:00～16:30	PFA（心理的応急処置）	講義、演習 定員 50名
5	2月15日（木） 19:30～21:00	地域医療本部における受援のあり方	講義、図上

※ 研修コースは全て沖縄県医師会館（3F ホール）で開催予定です。

※ PFA（psychological First Aid）とは、災害支援に関わる全てのスタッフが習得しておくべき、心理的支援スキルとのことで、当コースは WHO が作成し、国内では国立精神・神経医療研究センターが実施しているコースです。主に都道府県や災害医療関係団体で開催されております。

----- 参加申込票 -----

■ FAX.098-888-0089 参加希望の研修番号に○印を付け、お申込みください。

申込番号	1 <input type="checkbox"/> · 2 <input type="checkbox"/> · 3 <input type="checkbox"/> · 4 <input type="checkbox"/> · 5 <input type="checkbox"/>
施設名	
氏名	医師・看護師・業務調整員・その他

沖縄県医師会事務局 業務1課 崎原
TEL: 098-888-0087 FAX: 098-888-0089

～ICLS コース開催のお知らせ～

ICLS(Immediate Cardiac Life Support)コースとは、最新の心肺蘇生ガイドラインに基づいた二次救命処置について学ぶ日本救急医学会認定のトレーニングコースです。成人の心肺停止に的をしぼり、最初の10分間に行うチーム医療を、シミュレーション実習を通して学びます。今年度、開催期日が決定しましたのでお知らせします。

名称	時間	実施場所
第55回 新おきなわICLSコース	7月16日(日) 9:00～18:00	おきなわクリニカル シミュレーションセンター
第56回 新おきなわICLSコース	9月17日(日) 9:00～18:00	おきなわクリニカル シミュレーションセンター
第57回 新おきなわICLSコース	11月26日(日) 9:00～18:00	名桜大学
第58回 新おきなわICLSコース	1月28日(日) 9:00～18:00	名桜大学
第59回 新おきなわICLSコース	3月4日(日) 9:00～18:00	おきなわクリニカル シミュレーションセンター
<p>✚ 各コースとも受講料(昼食代込、テキスト代別)は、医師・歯科医師8,000円、コメディカル6,000円を予定しています。</p>		
<p>✚ 各コースとも募集は2ヶ月前に以下リンク先に掲載されますので、お申込み下さい。</p> <p>✚ 沖縄県医師会 http://www.okinawa.med.or.jp/html/kyukyu/kyukyu/kyukyu.html</p> <p>✚ おきなわクリニカルシミュレーションセンター http://okinawa-clinical-sim.org/course.html</p>		
<p>✚ 受講選考については、これまで通り申し込み順ではなく、施設間のバランスやインストラクターの参加状況を踏まえ、決定することになりますので、ご了承ください。</p>		
<p>・問い合わせ先:trees@me.au-hikari.ne.jp (沖縄ERサポート 林 峰栄)</p> <p>・問い合わせ先:沖縄県医師会事務局 業務1課(崎原)</p> <p>TEL. 098-888-0087 FAX. 098-888-0089</p>		

沖縄県ドクターバンクからのお知らせ

常勤・非常勤での勤務先を探している、ベテランの技を活かしスポット勤務で働きたいとお考えの先生方、または産業医として勤務できる事業所をお探しの皆様！沖縄県ドクターバンクに登録してみませんか？
当バンクでは多くの求人情報の中から、皆様のご希望に合う医療機関をご紹介します。

☆下記の登録票に必要事項をご記入の上、沖縄県医師会事務局 業務1課まで、FAXにてお申し込みください。

FAX 番号:098-888-0089

沖縄県ドクターバンク登録票 (医師用)

*項目は必須 受付登録日： 年 月 日 受付番号：

ふりがな *氏名	-----		*生年月日	(西暦) 年 月 日生
*住所	〒 -			
*連絡先	電話(自宅または携帯)： E-mail：			
*医籍登録日	年 月 日登録	保険医登録番号	医 号	
*医籍番号	第 号	*専門診療科		
資格	専門医資格	その他の資格		
*現在の状況	①就業中 ②休職中(産休・育休・病休) ③離職中 ④その他：			
現在の勤務先				
希望条件	就業形態	①常勤 ②非常勤(頻度 回/月程度) ③その他：		
	希望診療科			
	施設種別	①病院 ②診療所 ③その他：		
	希望地域	第1希望： <input type="checkbox"/> 那覇 <input type="checkbox"/> 南部 <input type="checkbox"/> 中部 <input type="checkbox"/> 北部 <input type="checkbox"/> 離島 第2希望： <input type="checkbox"/> 那覇 <input type="checkbox"/> 南部 <input type="checkbox"/> 中部 <input type="checkbox"/> 北部 <input type="checkbox"/> 離島		
	勤務希望時期	①今すぐ ②平成 年 月頃から ③未定		
	勤務時間	勤務可能な曜日	月・火・水・木・金・土・日	
		勤務可能な時間帯	時 分 ~ 時 分	
	当直勤務	①できる ②できない		
	希望業務内容	①病棟 ②外来 ③健診 ④パート ⑤臨時 ⑥産業医		
	給与	常勤務の場合	月給：	以上
		非常勤の場合	日給：	以上 月給： 以上
		臨時の場合	時給：	以上
保育所	①必要 ②必要なし			
再就業のための再研修	①必要 ②必要なし			
その他希望				

★以下の項目は、沖縄県ドクターバンクホームページへの登録をご希望の方のみ、ご記入ください。

◎沖縄県ドクターバンクホームページ用アカウント(半角英数字10文字以内)

※メールアドレスの登録が必須です。

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

◎当ドクターバンクホームページ上における個人情報の開示について

「受付番号」「専門診療科」「希望就業形態」「希望地域」の掲載を許可しますか？

はい、許可します

いいえ、許可しません

*氏名、住所等の個人が特定される情報につきましては、個人情報保護関連法令に則り開示・公表また無断流用は一切いたしません。

《提出・問合せ先》

〒901-1105 南風原町字新川218-9

沖縄県医師会事務局

業務1課 ドクターバンク担当

TEL.098-888-0087 / FAX.098-888-0089

労務管理者向け勤務環境改善セミナー開催のお知らせ

ご承知のとおり、改正医療法において、医療機関の勤務環境改善が各医療機関の努力義務として位置づけられたことに伴い、沖縄県医師会（沖縄県医療勤務環境改善支援センター）では、平成 27 年度よりみだしセミナーを開催しておりますが、今年度も引き続き、職場環境改善に必要な知識の習得・啓発に向けたセミナーを下記のとおり開催いたします。

本セミナーでは、快適に働ける職場環境づくりを行なうためのポイントや具体的な進め方等をご説明するほか、終了後、医療機関からの無料相談会も実施しております。

参加ご希望の方は、各セミナー番号に○印を付け、必要事項を記載の上、FAX（098-888-0089）にて各日程の 2 週間前までにお申し込み下さい。

日時		時間	プログラム
終了	6 月 12 日（月）	13:30 ～ 15:30	「こうして進める、取り組む医療機関の女性活躍 ～2 本立て」 ➢ ① 介護休業・休暇の制度の基本～その取り方・取らせ方 ➢ ② こうして対処する。マタハラ対応の具体例と実務
2	7 月 10 日（月）	13:30 ～ 15:30	「宿日直適正化通達（H14.3.19）、労働時間把握新ガイドライン（H29.1.20）について学ぶ ～平成 29 年度労働行政動向の一大ポイント！新ガイドラインをもとにした指導への対応を考える」
3	8 月 14 日（月）	13:30 ～ 15:30	「派遣先における派遣労働者管理の実務」
4	9 月 11 日（月）	13:30 ～ 15:30	「ここがポイント、平成 29 年度の助成金をまるっと紹介」
5	10 月 16 日（月）	13:30 ～ 15:30	「医療の職場で行う改善の実践」 ～マネジメントシステムの効果的活用事例の紹介と実践手法
6	11 月 13 日（月）	13:30 ～ 15:30	「ここに注目、認証制度の取得と活用のすべて」（予定）
7	12 月 11 日（月）	13:30 ～ 15:30	「院内内託児所の整備と運用のための基礎知識」（予定）
8	1 月 15 日（月）	13:30 ～ 15:30	「募集・採用・労働条件明示の留意点」

◆ セミナー対象者は、労務管理者、または今後そうした立場になる可能性のある方、職場環境改善に関わる方などを含みます。申込が複数いる場合はコピーをご利用下さい。

◆ セミナー開催場所は、沖縄県医師会館（南風原町字新川 218-9）で開催いたします。

----- 参加申込票 -----

参加希望の研修番号に○印を付けてください。

申込番号	1	2	3	4	5	6	7	8
施設名								
職氏名								

沖縄県医師会事務局
 沖縄県医療勤務環境改善支援センター 崎原
 TEL: 098-888-0087 FAX: 098-888-0089

沖縄県医療勤務環境改善支援センター

ニュースレター

平成 29 年5月9日発行 第 45号

沖縄県医師会(沖縄県医療勤務環境改善支援センター)
〒901-1105, 南風原町字新川 218-9
TEL.098-888-0087 / FAX.098-888-0089
mailto:g1@ml.okinawa.med.or.jp

★労務管理トピック

「健康経営優良法人認定制度」とは？

医療労務管理アドバイザー(社会保険労務士) 前里 久誌

◆注目が集まる「健康経営」

いま、「健康経営」が注目を集めています。
健康経営とは、従業員の健康管理を「コスト」ではなく「投資」として捉え、積極的に従業員の健康管理・増進に取り組んでいくというもので、従業員の活力向上や生産性アップ、企業のブランドイメージの向上などの効果が期待されています（「健康経営」はNPO 法人健康経営研究会の登録商標です）。

国も積極的に健康経営を推進しており、経済産業省が東京証券取引所と共同で実施する「健康経営銘柄」や協会けんぽ（東京支部）の健康企業宣言、厚生労働省の安全衛生優良企業公表制度などがあります。

◆「健康経営優良法人認定制度」とは？

この「健康経営優良法人認定制度」とは、経済産業省が主導となり、優良な健康経営を実践している大企業や中小企業等の法人を顕彰する制度です。

健康経営に取り組む優良な法人を「見える化」することで、従業員や求職者、関係企業や金融機関などから「従業員の健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に取り組んでいる法人」として社会的に評価を受けることができる環境を整備することを目的としています。

大企業だけでなく、中小企業も認定の対象となっており、今年2月21日に、2017年度の認定法人として大規模法人部門 235 法人・中小規模法人部門 95 法人が認定されました。

認定を受けた法人には、金融市場（低金利融資や従業員向け住宅ローンの優遇）や労働市場における優先的マッチング、入札加点等におけるインセンティブが付与されるよう、地域に応じた支援環境を整備していくとしています。

★Q&A 育児短時間勤務を利用している職員の年次有給休暇取得時の「通常の賃金」は8時間分ですか？

医療労務管理アドバイザー(社会保険労務士) 善平 克恵

Q: 当院では、年次有給休暇を取得した場合、「通常の賃金」を支払うことになっています。

育児短時間勤務を利用している職員から、「うちの病院は、1日6時間の育児短時間勤務でも8時間分支払ってくれるので、年休を取得したほうが得ですね。」と言われました。「通常の賃金」とは当院の所定労働時間である8時間分の賃金をいうのでしょうか？

A: 労働基準法では、年次有給休暇の際に支払うべき賃金として、①平均賃金、②所定労働時間労働した場合に支払われる賃金（以下「通常の賃金」という。）、③健康保険法による標準報酬日額に相当する金額の3種類のうち、いずれかを支払えばよいと定めています。

※ ①②の賃金を選択する場合は、就業規則その他において規定することが求められています。

また、③を選択する場合には労使協定の締結が必要となります。

一般的には「通常の賃金」で賃金を支払うケースが多いようです。ここでいう「通常の賃金」は、年次有給休暇を取得した日に、もともと決められていた所定労働時間に対して支払われる賃金のことをいいます。

したがって、貴院の職員であれば、年次有給休暇を取得した日に決められていた所定労働時間は8時間となりますので、8時間分の賃金を支払うこととなります。しかし、育児短時間勤務を利用する職員であれば、決められていた所定労働時間は6時間となりますので、6時間分の賃金を支払えば良いこととなります。

沖縄県医療勤務環境改善支援センター ニュースレター

平成 29 年 5 月 19 日発行 第 46 号

沖縄県医師会(沖縄県医療勤務環境改善支援センター)
〒901-1105 南風原町字新川 218-9
TEL.098-888-0087 / FAX.098-888-0089
mailto:g1@ml.okinawa.med.or.jp

★ 労務管理トピック



医療労務管理アドバイザー
社会保険労務士 名城 志奈

「有期契約労働者の無期転換ポータルサイト」の紹介

厚生労働省は、労働契約法の無期転換ルールに基づく無期転換申込みが、平成 30 年4月から本格的に行われることを踏まえ、「有期契約労働者の無期転換ポータルサイト」を開設し、その中でさまざまな支援メニューを紹介しています。

その一環として、無期転換の条件、メリットと意義、導入の手順、支援策の紹介、事例などポイントをおさえ分かりやすく紹介したハンドブックを作成・公表しています。無期転換ルールが施行された平成 25 年4月から叫ばれている、いわゆる「平成 30 年問題」。すぐ現実の問題になります。今一度確認しておく意味でも、一読されてみてはいかがでしょうか。

医療勤務環境改善支援センターでは、「労働契約法の無期転換ルール」について詳しくご説明します、お気軽にお問い合わせください。

◆「有期契約労働者の無期転換サイト」
<http://muki.mhlw.go.jp/>



★Q&A 「妊産婦の軽易業務転換」について



医療労務管理アドバイザー
(特定社会保険労務士)金城 由紀子

Q シフト勤務制を採用していますが、女性従業員から「妊娠したので遅番のシフトはできるだけ入れないでほしい。」と申出がありました。遅番の勤務時間帯が深夜に及ぶわけではないなか、遅番勤務拒否まで認めなければならぬのでしょうか。

A 産前産後の措置のなかに、「軽易業務への転換」に関する規程(労基法第65条第3項)があり、妊娠中の女性が請求した場合、「使用者は他の軽易業務に転換させる」義務を負います。本規程は、「原則として女性が請求した業務に転換させる趣旨であるが、新たに軽易な業務を創設して与える義務まで課したものではありません。」とされています。

女性従業員が「早番勤務」を「軽易業務」と指定して申し出ているのであれば、対応を考慮する必要があります。「軽易業務への転換」については、「労働時間帯の変更(例えば、早番を遅番に変更)」も含むと解されています。

改正均等法では、上司等のマタハラ行為として「軽易業務への転換」を理由とする嫌がらせも例示しています。また、当該従業員が早番を希望するのは、均等法13条(母性健康管理措置)に基づく「通勤緩和措置」に該当する可能性もあります。従業員の要請に沿った配慮が求められるところです。

※上記項目の具体的内容については、支援センター相談窓口迄お問い合わせください。

ご存知ですか？

平成26年10月施行の改正医療法により、病院または診療所の管理者は、医療従事者の勤務環境改善等への取り組みが努力義務化されました。将来にわたり質の高い医療サービスを提供していくためには、医療従事者が健康で安心して働くことの出来る環境整備が必要です。

沖縄県医師会

医療勤務環境改善支援センター

平成27年3月2日より沖縄県医師会事務局内にみだし支援センターを開設しました。本センターには医療労務管理アドバイザー（社会保険労務士）及び医業分野アドバイザー等を配置し、医療機関の自主的な勤務環境改善に必要な支援を行います。

まずは「できるところから」始めてみましょう

相談

情報提供

助言

支援

医療勤務環境改善に関する研修会

労働時間管理（働き方・休み方等）
労働安全衛生（スタッフ健康支援）
施設環境整備（ハード・ソフト）
キャリア形成支援等

診療報酬制度面
医療制度・医療法制度面
組織マネジメント・経営管理面
各種補助メニューの活用提案

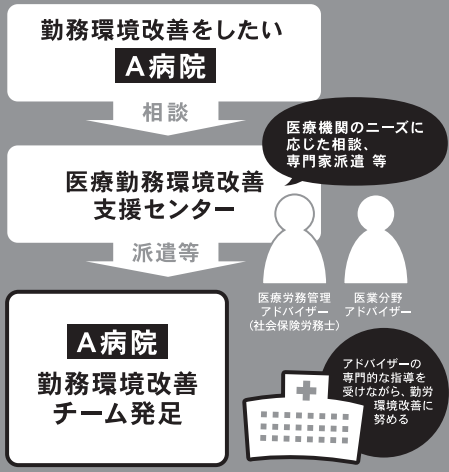
お問い合わせ

TEL:098-888-0087

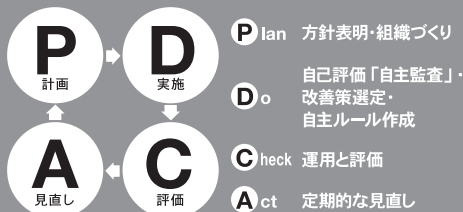
沖縄県医療勤務環境改善支援センター 〒901-1105 南風原町字新川218-9
FAX:098-888-0089 平日9時～17時（土・日・祝祭日・年末年始除く） 沖縄県医師会事務局内

いきいき働く医療機関サポートWeb <http://iryou-kinmukankyou.mhlw.go.jp/>

【医療勤務環境改善の手順】



PDCAサイクル



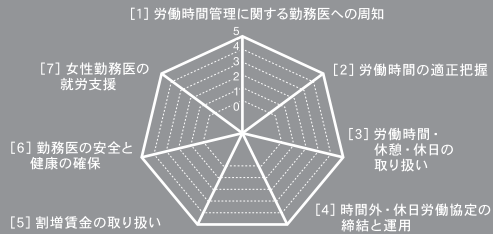
日本医師会 勤務医の健康支援に関する検討委員会
勤務医の労務管理に関する
分析・改善ツール
http://dl.med.or.jp/dl-med/kinmu/kshien_tool201403.pdf



勤務医の労務管理チェックリスト

- [1] 労働時間管理に関する勤務医への周知
- [2] 労働時間の適正把握
- [3] 労働時間・休憩・休日の取り扱い
- [4] 時間外・休日労働協定(36協定)の締結と運用
- [5] 割増賃金の取り扱い
- [6] 勤務医の安全と健康の確保
- [7] 女性勤務医の就労支援

勤務医の労務管理チェックリスト分析チャート



沖縄県医師会事務局 沖縄県医療勤務環境改善支援センター 行

お問い合わせ TEL:098-888-0087 FAX:098-888-0089

無料

沖縄県医療勤務環境改善支援センター利用申込書

記入日：平成 年 月 日

所属機関 _____

連絡先 TEL _____ 内線 _____

担当者氏名 _____

希望相談支援内容 医療労務管理面 ・ 医業経営面

相談方法 電話相談 ・ 訪問相談 ・ 来所相談

希望日 平成 年 月 日

沖縄県医師会



沖縄の新しい医療のカタチ！ 『おきなわ津梁ネットワーク』

セキュリティの高い特定の端末より、インターネットを介して、以下の医療情報を参照または関係機関と共有し、効果的かつ効率的な診療等に役立てるシステムです。

沖縄県医師会は、おきなわ津梁ネットワークというツールを用い、県民の健康推進・健康長寿復活を目指しております。

- 特定健診（市町村国保、協会けんぽ）や長寿健診の結果
- 各医療機関における臨床検査結果
- 糖尿病・脳卒中・急性心筋梗塞に特化した専門病院と診療所による地域医療連携パス情報
- 薬局より提供いただく処方・調剤情報
- 多職種より提供いただく患者さんの情報（在宅・介護情報等）



おきなわ津梁ネットワークに参加する医療機関のリストは、健康推進を目的に保険者と共有されます。





平成28年度診療報酬改定

診療情報提供書等の電子的な送受に関する評価

第1 基本的な考え方

現在、署名又は記名・押印が求められている診療情報提供書、訪問看護指示書及び服薬情報等提供文書とについて、電子的に署名を行い、安全性を確保した上で電子的に送受した場合にも算定可能とする。診療情報提供書への検査結果・画像情報等の添付について、電子的に送受・共有する場合についても評価する。

第2 具体的な内容

1. 医科診療報酬点数表に記載する診療等に要する文書、訪問看護管理療養費の算定に係る文書及び服薬情報等提供料の算定に係る文書の電子化

[算定要件]

(1) 電子的方法によって、個々の患者の診療に関する情報等を他の保健色湯機関等に提供する場合は、**厚生労働省「医療情報システムの安全管理に関するガイドライン」(平成25年10月)を遵守し、安全な通信環境を確保する。**

おきなわ津梁ネットワークの通信環境を活用

(2) 署名又は記名・押印を要する文書については、電子的な署名を含む。その場合、**厚生労働省の定める準拠性監査基準を満たす保健医療福祉分野の公開鍵基盤 (HPKI : Healthcare Public Key Infrastructure) による電子署名を施すこと。**

日本医師会の医師資格証を活用

2. 診療情報提供料 (I) 検査・画像情報提供加算の新設

(新) 検査・画像情報提供加算

イ 退院する患者について、当該患者の退院日の属する月又はその翌月に、必要な情報を提供した場合 200点

ロ 入院中の患者以外の患者について、必要な情報を提供した場合 30点

[算定要件]

保険医療機関が、患者の紹介を行う際、過去の主要な診療記録を、他の保険医療機関に電子的方法で閲覧可能なように提供した場合に加算する。ただし、イについては、注7に規定する加算を算定する場合は算定しない。

3. 電子的診療情報評価量の新設

(新) 電子的診療情報評価料 30点

[算定要件]

保険医療機関が、別の保険医療機関から診療情報提供書の提供を受けた患者について、過去の主要な診療記録を電子的方法により閲覧でき、当該診療記録を診療に活用した場合に算定する。

[2及び3に係る施設基準]

(1) 他の保険医療機関等と連携し、患者の医療情報に関する電子的な送受信が可能なネットワークを構築していること。

(2) 別の保険医療機関と標準的な方法により安全に情報の共有を行う体制が具備されていること。



【お問合せ先】

沖縄県医師会業務2課 (知念・徳村・平良)

おきなわ津梁ネットワーク事務局


TEL : 098-888-0087 / FAX : 098-888-0089

E-mail : okinawa-shinryo@okinawa.med.or.jp

おきなわ津梁ネットワークの活用(例)


〔特定健診結果の活用〕

初診患者さん
同意説明




①問診票記入後、津梁ネットワークの趣旨を説明し参加同意取得

津梁ネット登録
健診受診を確認




②自院の患者としてシステムに登録
③健診受診の有無について確認

健診結果参照



④健診結果を直接端末より参照もしくは紙出力し、診察前に医師へ提供

要医療者への介入
健診受診勧奨



⑤健診結果より、その場で適切な治療開始
※重症化予防!
⑥健診未受診の場合、健診受診勧奨
※健診受診率向上!

〔救急外来診療時の活用〕

救急外来受付時
津梁ネット登録



①利用者カードの提示
②自院の患者としてシステムに登録
(初回のみ)

フェイスシート
紙出力



③フェイスシート(医療基本情報)を紙出力し、診察前に医師へ提供

アレルギー情報



救急診療の充実



〔調剤薬局での活用〕

受付時
津梁ネット登録



①利用者カードの提示
②自局の患者としてシステムに登録
(初回のみ)

健診結果・他薬局
調剤情報参照



端末参照 or 紙出力

健診結果を基にした
服薬指導・健康相談



他薬局調剤情報を
基にした適正処方



〔整形外科での活用〕

白衣
高血圧？
仮面
高血圧？

リハビリ前の
血圧測定

健診結果参照
端末 or 紙出力

〔健診結果：血圧〕
H25: 170/110
H26: 165/108
H27: 166/102

特定健診
結果

リハビリ可否判定
(参考資料)

リハビリ中止基準
収縮期: 70以下、200以上
拡張期: 120以上

可否判定

〔眼科での活用〕

眼底・眼圧検査

視神経
乳頭所見
眼圧
所見

健診結果参照
端末 or 紙出力

〔健診結果：血糖〕
H25: 7.0%
H26: 7.4%
H27: 7.7%

特定健診
結果

精密検査・
専門医との連携

精密検査

連携

〔産婦人科での活用〕

妊婦健診

妊娠
中毒症？

医療基本情報参照
端末 or 紙出力

〔フェイスシート〕
健診検査より
・体重の変化
・血圧の変化
処方調剤より
・服薬状況
アレルギーより
・禁忌薬等

アレルギー情報

フェイスシート
検査・健診
処方・調剤

状態に応じた
適切なケア





システム利用に必要なもの

1.インターネット回線 ※利用者負担

- 既存回線が利用可能
- 光ネクスト、光プレミアム、Bフレッツ、フレッツADSL、YahooBB、ケーブルTV等

2.インターネットに接続可能なPC又はiPad ※利用者負担

- 既存端末が利用可能（但しスペック制限あり）
- Windows (Vista,7,8) ※Windows 10 はH28.4月以降対応予定
iOS (6.0以降)、Macintosh (X10.7以下) ※Macは現在調査中



3.ウイルス対策ソフトの導入 ※利用者負担

- 安全なものであればソフトの種類は問いません。

4.VPNソフトの導入 ※沖縄県医師会より配布

5.利用料金（月額）

病院（15,000円）
 診療所・歯科診療所・調剤薬局（5,000円）
 介護サービス事業所等（2,000円）

利用者カード原寸大

(表)	(裏)
	<p>ご利用方法について</p> <ul style="list-style-type: none"> •おきなわ津梁ネットワーク連携医療機関（以下、連携医療機関）を受診した際に、本カードをご提示いただきますと、過去に連携医療機関で受けた健康情報等が参照できるようになります。 •本カードはおきなわ津梁ネットワーク参加同意説明書に署名されたご本人様のみご利用できます。 •本カードは大切に保管してください。万一盗難、紛失、破損等した際は直ちに連携医療機関または沖縄県医師会にお届け下さい。 <p>おきなわ津梁ネットワーク 一般社団法人 沖縄県医師会 〒901-1105 沖縄県南風原町字新川1218-9 TEL: (098) 888-0087 FAX: (098) 888-0089 http://www.shinryo.okinawa.med.or.jp/</p>



〔お問合せ先〕
 沖縄県医師会業務 2 課（知念・徳村・平良）
 おきなわ津梁ネットワーク事務局
 TEL : 098-888-0087 / FAX : 098-888-0089
 E-mail : okinawa-shinryo@okinawa.med.or.jp

医師年金 <認可特定保険業者>公益社団法人 日本医師会 ご加入のおすすめ

加入資格 64歳6カ月未満の日本医師会会員 (会員区分は問いません)

☑年金検討チェックリスト

- 公的年金では現役時代の生活水準を維持できない
- コツコツ積立てて十分な年金を確保しておきたい
- 一生涯受け取れる年金が望ましい
- 受け取れる年金の額を効率的に増やしたい
- 医師独自のライフスタイルにあった年金がいい
- 加入前に受取年金額のシミュレーションを確認したい

1つでも該当したら...

医師年金ご加入をおすすめします!


医師年金ホームページで、簡単シミュレーション!

医師年金 検索

<http://www.med.or.jp/nenkin/>

ご希望の受給額や保険料、生年月日を入力するだけで、簡単に受取年金額のシミュレーションができます。ぜひお試しください。

個別プランの設計や詳しい資料のご請求はこちら

 公益社団法人
日本医師会 年金・税制課

TEL : 03-3946-2121(代表) / 03-3942-6487(直通)
FAX : 03-3942-6503
受付時間：午前9時30分～午後5時(平日)
E-mail : nenkin@po.med.or.jp

保険料からプラン作成

保険料	
●基本：月私 加算：月私	日給保険料
前年度年 (10.27)	60,000円
基本月給	月給保険料
12,000円	
加入年齢	24歳 6ヶ月
2014年 6ヶ月	2,940円
合計	72,000円

設定条件をご確認ください。

試算日	平成 27年 9月 7日
生年月日	昭和 50年 1月 1日
試算自年齢	40歳
加入申込期間	平成 27年 6月 15日
加入申込年齢	平成 27年 7月
加入申込年齢	40歳 6ヶ月
加算申込開始年齢	平成 27年 7月
年金受取開始年齢	平成 52年 1月
年金受取開始年齢	65歳
払い保険料合計	25,166,000円

注意事項です。お読みください。

- ・加入申込期間は、18日(土日)・祝祭日の場合は、その前日となります。
- ・「加入申込」は、加入者ご本人であれば一生受取可能なことが可能です。
- ・「仮受給開始15年」では、受給者ご本人が65歳到達前に死亡した場合、15年満りの期間について、ご遺族の方が必ず受け取る事ができます。
- ・「他府県への転居」(住所)については、受給開始時に通知する必要があります。
- ・受給開始年齢は、75歳まで繰上できます。
- ・「受取年金額」は、標準です。現在は令和1年度分の計算となっており、尚、年金の繰上決定が行われる場合は、変更になる場合があります。

医師年金	
●81コース	受取額15万 15年受給期間
加入年齢	65.100円
加入年齢	65.100円
基本月給	17,200円
15年受給期間	103,300円
15年受給期間	103,300円
15年受給期間	10,908,000円
●82コース	15年受給期間
加入年齢	56.800円
加入年齢	56.800円
基本月給	17,200円
15年受給期間	385,800円
15年受給期間	17,200円
15年受給期間	25,212,000円
●83コース	15年受給期間
加入年齢	191,100円
加入年齢	191,100円
基本月給	17,200円
15年受給期間	208,300円
15年受給期間	17,200円
15年受給期間	26,028,000円
●84コース	15年受給期間
加入年齢	183,100円
加入年齢	183,100円
基本月給	17,200円
15年受給期間	149,300円
15年受給期間	17,200円
15年受給期間	26,874,000円

20150601S8

日本医師会が運営する医師のための私的年金
日本医師会 **医師年金**

医師年金の特長 医師年金のしくみ 医師年金シミュレーション よくあるご質問 手続きガイド お問い合わせ・資料請求

豊かで安心できる将来に向けて

現役引退後、公的年金だけで、現在の生活水準を維持できますか？

医師年金についてシミュレーションしてみましょう。

保険料からシミュレーション 受給年金からシミュレーション

お知らせ

- 2015年2月26日 医師年金ホームページ「シミュレーション機能拡充」について
- 2013年3月21日 東日本大震災に関わる特別措置の終了について
- 2012年12月 認可特定保険料の認可取得に伴う制度変更のお知らせ
- 2012年4月9日 特定保険料の認可申請についてのお知らせ・特定保険料の認可申請について
- 2011年7月7日 医師年金を繰上り変更申請に関するお知らせ

医師年金の特長

- 日本医師会会員のための私的年金
- 拠立型の私的年金
- 事務手数料が少額
- 年金の受取コースは受給開始時に選択
- 満64歳以降いつでも加入可能
- 一生享受される年金
- 保険料の増減は自由
- 年金の受取開始を満75歳まで延長可能
- 所属医師会・会員種別が変わっても継続可能

医師年金のしくみ

- 保険料について
- 加入資格について
- 給付について
- 費者年金
- 費者年金
- 医師年金
- 遺族年金
- その他
- 税金の取扱いについて

よくあるご質問 手続きガイド リンク 日本医師会 医師年金 医師会連合会

医師年金 HP のトップページの「保険料」及び「受給年金」からシミュレーションが可能です。

日本医師会が運営する医師のための私的年金
日本医師会 **医師年金**

トップページへ サイタマップへ
個人技術保護方針 重要事項のお知らせ

医師年金の特長 医師年金のしくみ 医師年金シミュレーション よくあるご質問 手続きガイド お問い合わせ・資料請求

医師年金シミュレーション

ホーム * 医師年金シミュレーション * 保険料からシミュレーション

医師年金シミュレーション

保険料からシミュレーション

生年月日 保険料を入力して、受給年金のシミュレーションをしてみましょう。

生年月日 昭和50年 1月 1日

基本保険料払込方法 月払 年払 一括払

加算保険料払込方法 月払 随時払 なし

加算保険料口数 10口 月払 60,000円

*シミュレーションの試算結果(年金月額)は、総額計算による概算です。

必要な情報を入力し、「計算開始」のボタンをクリック。

日本医師会が運営する医師のための私的年金
 日本医師会 **医師年金**

トップページ | サイトマップ | 個人情報保護方針 | 重要事項の通知

医師年金の特長 | 医師年金のしくみ | 医師年金シミュレーション | よくあるご質問 | 手続きガイド | お問い合わせ

ホーム > 医師年金シミュレーション > 保険料からシミュレーション

医師年金シミュレーション

保険料からプラン作成 (試算結果)

試算結果は簡易計算による概算です。

戻る PDF

保険料

■ 基本：月払 加算：月払

加算年金 (10口)	月払保険料 60,000円
基本年金	月払保険料 12,000円

40歳 ————— 65歳

支払期間 24年7ヵ月 (295回)

合計月払保険料 72,000円

■ 設定条件をご確認ください。

試算日	平成27年 3月16日
生年月日	昭和50年 1月 1日
試算日年齢	40歳
加入申込期限日	平成27年 5月15日
加入予定年月	平成27年 6月
加入時年齢	40歳5ヵ月
加算払込開始年月	平成27年 6月
年金受給開始年月	平成52年 1月
年金受給開始年齢	65歳
払込保険料累計	21,240,000円

■ 注意事項です。お読みください。

- 加入申込期限は、15日が土日・祝祭日の場合は、その前日となります。
- 「終身年金」は、加入者ご本人であれば一生受け取ることができます。
- 「保証期間15年」では、受給者ご本人が保証期間中におこなくなりになった場合、15年の残りの期間について、ご遺族の方が必ず受け取ることができます。
- 「受取コースの選択 (B1~B4)」は、受取開始の時に決めいただけます。
- 受取開始年齢は、75歳まで延長できます。
- 「受取年金月額」は概算です。現在は年利率1.5%での計算となっており、将来、年金の制度改定が行われる時は、変更になる場合があります。

受給年金

● B1コース

加算年金	保証期間15年 86,500円	終身
基本年金	保証期間15年 17,300円	終身

65歳 ————— 80歳

受取月額

103,800円 103,800円

15年受取総額 16,684,000円

● B2コース

加算年金	5年確定型 370,100円	
基本年金	保証期間15年 17,300円	終身

65歳 — 70歳 ————— 80歳

受取月額

387,400円 17,300円 17,300円

15年受取総額 25,320,000円

● B3コース

加算年金	10年確定型 191,900円	
基本年金	保証期間15年 17,300円	終身

65歳 — 75歳 ————— 80歳

受取月額

209,200円 17,300円 17,300円

15年受取総額 26,142,000円

● B4コース

加算年金	15年確定型 132,600円	
基本年金	保証期間15年 17,300円	終身

65歳 ————— 80歳

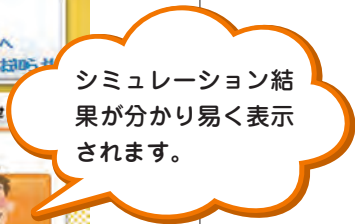
受取月額

149,900円 17,300円

15年受取総額 26,982,000円

● このページの先頭へ

戻る PDF



生涯教育／プライマリ・ケア

平成 29 年 7 月 1 日

○字数制限

生涯教育 6,000 字以内とし、冒頭に 400 字程度の要旨をつけて下さい。

プライマリ・ケア 2,500 字以内

(図表 1 枚を 400 文字数に換算する必要がある)

○内容

生涯教育は、原則学術・実地医家にとって有用性の高い総説論文

プライマリ・ケアは、病診連携、病病連携等に資していただけるような、日常的な症状に関するミニレクチャー的な内容。

○原稿の書き方

①原稿はできるだけ Word、Excel、PowerPoint にて作成して下さい。

②原則として常用漢字、現代かな使い、算用数字を使用して下さい。

③図、表、写真の挿入場所を文中に指定して下さい。

④図表にはタイトルをつけてください。

⑤写真、図、表は原則として 10 枚以内とし、そのまま製版出来る鮮明なもので、特に写真は明瞭なものでご提出下さい。

⑥人を対象とした研究については、ヘルシンキ宣言を遵守したものであること、また症例を提示する際（症例報告）は、患者さんのプライバシーの保護やインフォームドコンセントなどに関する倫理的な問題に十分配慮されていること。

個人が特定され得る疾病に関しては、本人の同意を得ようご配慮下さい。

○文献

引用文献は最小限度（原則として 10 以内）とし、論文中にでてくる順に番号をつけ、末尾に以下の形式で一括して下さい。本文中には、引用部の右肩に 1) 2) 3) …の番号を付して下さい。引用の図表は出典を明記して下さい。

著者は複数の場合は筆頭者、他で記入下さい。

引用文献の記載項目並びに順序

○雑誌の場合

著者名：論文題名. 雑誌名 発行年；巻：ページ.

Ahonkhai VL, et al : Failure of pneumococcal vaccine in children with sickle-cell disease. N Engl J Med 1979 ; 301 : 26-27.

○単行本の場合

著者名：書名. (版数), 発行所, 発行所の所在地, 発行年；引用ページ.

Koch FC, et al : Practical Methods in Biochemistry. 2nd ed, William Willkins, Baltimore, 1948 ; 212 (or 212-215) .

○シリーズなど

執筆者名：執筆部分題名. 編者名, シリーズ名, 巻数, 発行所, 発行地, 発行年；引用ページ.

Kovec A : The liver and spleen. ed Bolinger RE, In Guide to Diagnostic Imaging, vol 1, Medical Examination Publishing Co Inc, New York, 1982 ; 123-140.

○ウェブサイトの場合

執筆者名 (編者名)：サイト名. URL (最終閲覧日)

運動器の 10 年・日本協会：学校での運動器検診の手引き. http://www.bjd-jp.org/medicalexamination/guide_0.html (2016 年 8 月 16 日閲覧)

月間 (週間) 行事お知らせ

○字数制限：2,000 字以内

○内 容：医療関係の行事等について

発言席

○字数制限：2,500 字以内

○内 容：会員の先生方のご意見や主張等

勤務医 / 臨床研修医

○字数制限：勤務医 2,000 字以内、臨床研修医 1,500 字以内

○内 容：勤務医・臨床医の先生方からのご意見・ご要望

地区医師会

- 字数制限：1,000 字以内
- 内 容：各地区医師会の活動状況
(例：テレビ番組やラジオ番組の放映、かかりつけ医推進事業等の厚労省モデル事業や独自の院内活動等)

若 手

- 字数制限：1,500 字以内
- 内 容：今後の進路を決める先生方へのアドバイス等について（若手医師への提言、日常診療のコツ、開業顛末記等）

随筆 / 新春干支随筆 / 緑陰随筆

- 字数制限：随筆 2,500 字以内、新春干支随筆・緑陰随筆 1,500 字以内
- 内 容：日常診療のエピソード、青春の思い出、一枚の写真、趣味などの他、紀行文、特技書評、新年の抱負など

本の紹介

- 字数制限：1,500 字以内
- 内 容：感動した、生き方が変わった、診療が変わった、新たに真実を知った本等々、会員の皆様の座右の本の紹介

いきいきグループ紹介

- 字数制限：1,000 字以内
- 内 容：各研究会、スポーツ同好会や摸合等の活動紹介

身近な闘病記

- 字数制限：2,000 字以内
- 内 容：ご自身又はご家族の病気療養の経験談について

追悼文

- 字数制限：1,500 字以内
- 内 容：お亡くなりになられた先生への追悼

広 告

- 沖縄県医師会報の品位、及び体制を損なわぬものとし、採否については広報委員会で審議のうえ決定する。

投稿の方法

1. 会報への投稿の第一執筆者は、原則として沖縄県医師会会員であること。
2. 原稿には題名、氏名、勤務先(所属)を明記して下さい。
3. 図・表・写真は原則モノクロ掲載とし、カラーの場合は実費をご負担願います。
4. 送付方法は出来ましたらメール送信又はCD-R等での送付をお願いします。
5. 同一会員の原稿掲載回数は、1期(4～7月号)、2期(8～11月号)、3期(12～3月号)の各期ごとに1編のみ。
6. 写真の解像度は350以上をお願いします。表紙写真に関しては、会員本人撮影のものとする。
7. 掲載の採否は広報委員会で決定し、内容によっては原稿の修正等をお願いする事があります。

著作権

本誌並びにホームページに掲載される著作物の著作権は沖縄県医師会に帰属します。

送付先・問い合わせ先

沖縄県医師会 庶務課
〒901-1105 南風原町新川 218-9
TEL：098-888-0087 FAX：098-888-0089
E-mail：kaihou@ml.okinawa.med.or.jp

7月号が会員の皆様の手元に届く頃には梅雨は明け、夏本番となっていることと思います。編集後記を書いている今週は梅雨の終わりか、帳尻を合わすようにまとまった雨が続きいます。特に北部の水瓶には記録的な一日の雨量が300ミリを超え、今年は断水の心配はいらなさそうです。

さて、7月号の表紙を飾る一枚はプロはだしの原国政裕先生のヒマラヤ・アンナプルナ連峰の朝日のあたる風景で、その雄大さが伝わってきます。高山病にもなりかねない高地での撮影、ただただ感心するばかりです。

今年もまた、県医師会主催の第9回沖縄県医師会研修医歓迎レセプションが研修医126名を招待して盛大に開催されました。研修医代表挨拶では、研修を始めるにあたっての意気込みが伝わってきて、その初々しさに眩しさを感じたのは私だけではなかったと思います。沖縄県は全国の中でも初期研修医の集まる地域として有名になりましたが、今年はマッチング数が昨年より減ったことが気になります。次年度はまた例年数に戻るよう、それぞれの研修病院の努力に期待したいものです。

報告の『沖縄県が災害医療コーディネーターを設置』は沖縄県もようやく災害に本腰を入れ始めたということでしょうか。沖縄県医師会からは当医師会災害医療委員長出口 宝先生がコーディネーターの委嘱を受けました。先生の活躍を期待します。

インタビューコーナーは今年の4月に県立宮古病院の院長にご就任された本永英治先生です。研修医時代は離島診療所、スタッフになってからは宮古病院で離島医療の中心的な役割を

担っています。特筆すべきは沖縄県立宮古病院初期研修プログラム（パイカ星）を立ち上げたことです。研修の発展を願うものです。

生涯教育は那覇市立病院仲地紀哉先生の『抗血栓薬服用者の消化器内視鏡』です。今日、脳血管障害や循環器疾患で抗血栓薬が予防的、治療的に使用される頻度が急増しています。観血的治療を行う外科や消化器内科では治療戦略を間違えると出血で治療に難渋します。是非生涯教育の項をご一読ください。プライマリ・ケアの『副腎原発悪性リンパ腫の一例から学ぶショックの鑑別』、月間行事お知らせの『日本肝炎デー（7月28日）』は一般診療においてとても参考になると思います。

随筆コーナーでの辰村正人先生の『産科医のつぶやき』は産科医療現場が理不尽な環境下に置かれてきた現状をつぶやきと言うより、訴えられていると感じました。産科医が少ない現状で労基署は医師の負担を軽減しなさいと勧告してきていますが、医師の応召義務と数少ない人数で負担軽減という相反する命題にどのような解があるのか、混迷は増すばかりです。

新垣先生の『日本の流行歌のあれこれ』は楽しく読ませていただきました。私は電気も水道もない与那国島で育ったおかげで知らず知らずのうちに日本の古い歌が刷り込まれています。曲が流れると歌えてしまうのです。沖縄本島から遠く離れた与那国島には新しい歌が入るのには何十年も掛かり、従って古い曲が繰り返し流されていたせいでしょう。同い年の家内には不思議がられます。

広報委員 本竹 秀光